

文化財DE
浄瑠璃

◇会場

国登録有形文化財

武家屋敷 「原田家住宅」

徳島市かちとき橋3丁目43

蜂須賀家愛用のお茶室で、武者小路千家
雪月花の皆さまのお茶席をお楽しみいただけます。

阿波歌合会

—あわじかい—

題字 天羽油景

◇トーク…義太夫節の話

「艶姿女舞衣」酒屋の段より
お園のさわり

◇演目

「日高川入相花王」

渡し場の段

2025年

10月25日(土)

13:30 開演

◇料金：4000円(税込)
※40席限定
※お抹茶付き

◇チケット購入

◇お電話 ☎070-6540-1551

◇予約フォーム
阿波路会 公式
LINEアカウント



◆「原田家住宅」アクセス
徳島市営バス「かちとき橋5丁目」下車後すぐ
JR 阿波富田駅下車後徒歩 10 分

※駐車場はございません。お車でお越しの
際は、近隣のコインパーキングをご利用
ください。

◆主催 阿波路会
◆後援 (一財) 大阪蔵屋敷
徳島県立阿波十郎兵衛屋敷
NPO法人蜂須賀桜と武家屋敷の会
武者小路千家雪月花の会



竹本 友和嘉 (太夫)

豊澤町子に師事し、昭和 51 年初舞台。平成 8 年に鶴澤友路師(人間国宝)に入門し、平成 9 年竹本友和嘉を名乗る。東京国立劇場の「阿波の芸能」人形浄瑠璃公演をはじめ、国立演芸場での女流義太夫演奏会に出演するほか、数多くの海外公演にも参加。また小中学生対象の「義太夫節のワークショップ」や、十郎兵衛屋敷での義太夫教室や阿波路会を開催している。平成 14 年に人形浄瑠璃因協会奨励賞、平成 21 年には人形浄瑠璃因協会女子部門奨励賞、平成 29 年にとくしま芸術文化奨励賞を受賞。重要無形文化財(総合認定)保持者。

阿波路会



鶴澤 友勇 (三味線)

昭和 53 年に鶴澤友路師(人間国宝)に入門し、昭和 60 年に淡路人形座に入座。同年、鶴澤友勇を名乗る。数多くの海外公演にも参加。また国立劇場、京都造形芸術大学「春秋座」、義太夫保存会が主催する女流義太夫演奏会などへの出演、阿波路会の開催、小中学校対象の「義太夫節三味線のワークショップ」や、南あわじ市立三原中学校郷土芸能部の太夫・三味線の指導など幅広く活躍している。平成 12 年には第 33 回伝統文化ボーラ賞を受賞。重要無形文化財(総合認定)保持者。

阿波路会 (あわじかい)

義太夫節三味線の人間国宝、故鶴澤友路師に師事した徳島の義太夫・竹本友和嘉と淡路人形座の三味線奏者・鶴澤友勇が、伝統芸能である語り音楽「義太夫節」の魅力を広めていこうと平成 26 年に立ち上げた女流義太夫会。年次の自主公演のほか、県内外での人形浄瑠璃公演、新作・復活演目の公演、他ジャンルとのコラボなど積極的に活躍の場を広げている。

武者小路千家 雪月花の会

利休大居士の孫の元伯宗且居士より三人の兄弟で分派された流儀(表千家、裏千家、武者小路千家)の一つである武者小路千家の流儀を学び、実践している

国登録有形文化財 原田家住宅

明治初期、藩の重臣であった原田一平が元徳島藩主・蜂須賀茂韶から譲り受けたと伝わる。城下にあった邸宅や門を、東部殿庭園の樹木や庭石と共に10年の歳月を費やして1882年に移築復元した。

STORY

日高川入相花王

渡し場の段

この作品は、道成寺に伝わる安珍清姫の伝説をもとにした物語です。

皇位継承を巡って命を狙われる桜木親王は、山伏安珍へと身をやつし紀州真那古庄司の家に匿われていましたが、そこで恋人であるおだまき姫と再会すると、二人で庄司の家を出て道成寺へと逃れます。

一方、安珍が高貴な身分であることを知らず想いを寄せていた庄司の娘・清姫は、去った二人を必死に追いかけます。

月明かりの中、日高川のほとりに辿り着いた清姫は岸に泊まる船に川を渡すよう頼みこみますが、船頭は断ります。実は安珍が船頭に金を渡し、清姫が川を渡らないよう予め根回しをしていたのです。

清姫は深い悲しみと嫉妬に狂い、ついには恐ろしい大蛇へと姿を変えると、荒れる川へ飛び込み泳いでゆくのでした。